

B15r 分子雲をプローブとする高エネルギー現象の追究

福井 康雄 (名大)

我々は、「なんてん」による分子雲の広域観測を過去 10 余年にわたっておこなってきた。得られた分子雲データベースは、世界最高水準にあり、高エネルギー現象のプローブとして、あらたな活用の途が開かれつつある。以下の 4 点について、現状と今後への展望を論じる。

1. ガンマ線発生メカニズムの解明 (例、G347.5, W28 等)
2. エックス線発生源との相関 (例、銀河系中心部等)
3. 相対論的ジェットと星間物質の相互作用の追究 (例、SS433 等)
4. 磁気不安定性による粒子加速の可能性 (例、銀河系中心部ループ、NGC253 他)